

下呂市総合 防災訓練



8:00 地震発生。市役所内に災害対策本部が設置され、関係機関との連携訓練開始。

訓練開始

9月1日、「下呂市総合防災訓練」が市内全域で行われました。

この日の災害想定は、地震の発生確率が高まっている阿寺断層北部の直下型地震（最大震度6強）が発生し、誘発された金山地域の未知の断層が動き、市内で甚大な被害が発生したとの想定で行われました。

今回は、岐阜県と共催で金山地域において大規模な訓練を実施しました。各地域での訓練は、市民1万5千人、消防団700人、関係機関150人、市職員450人の合計1万6300人もの参加協力により行われました。

ここでは、自助・共助・公助による取り組みをご紹介します。

【総務部・防災情報課】



9:40 緊急患者が発生し、高機能病院への搬送のため県防災航空隊が金山小グラウンドに着陸。



10:10 自動車整備振興会や中部地方整備局が、国道をふさいでいた車両を撤去し開通作業を実施。（旧金山病院跡地）



10:15 自衛隊情報伝達員からの報告を受け、倒壊した家屋の土砂撤去作業と要救助者の救出のため現場へ向かう陸上自衛隊員。



11:00 土砂災害で倒壊した家屋から、土砂を取り除き屋根や壁を破壊し要救助者を救出。救急部隊が搬送。



10:25 市道をふさぐ倒壊家屋に要救助者がいないことを確認し、撤去作業を行う下呂建設業協会の重機。



10:25 県警本部、消防本部が倒壊家屋内にいる要救助者の救助活動のため出動。

訓練終了

その時、市内では・・・

防災訓練を機に、皆さん一人一人が災害に対して備えることが大切です。例えば、家具・家電製品の転倒防止策や

食料・水の備蓄を行うことで、それが「地域の力」となり、さらには「下呂市の力」となります。今一度、ご家族などで防災・減災についてみんなで話し合しましょう。



みんなで炊き出し訓練

【萩原町西上田】



災害図上訓練

【御厩野】



地域の防災倉庫確認

【萩原町四美】



みんなでバケツリレー

【萩原町上村】



8:30 自治会災害対策本部設置。金山小へ避難した市民が対策本部に避難人員を報告。(避難所：金山小)



8:15 負傷者発生。地域住民が一丸となって負傷者をリヤカーに乗せ、避難所まで搬送訓練。(金山第2区)



8:10 地震発生後、地域の避難場所へ向かう前に「避難完了フラッグ」を掲出。(金山第2区)



8:45 市医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力のもと、多数の負傷者を重症度に応じて優先順位を決定するトリアージ訓練を実施。



下呂看護専門学校の生徒らが、特殊メイクを施し負傷者役を演じました。



9:00 給水活動訓練。水道管破損による断水のため、市管設備工業協同組合が給水車を出勤。



9:05 炊き出し訓練。JA や県 LP ガス協会からの支援と、市金山赤十字奉仕団の皆さんにより避難者への食事を提供。

下呂市総合防災訓練への参加にあたり、金山第2区区民はさまざまな課題を克服しながら、第2次避難所である金山小学校へ、みんなで避難行動を取りました。

「区の対策本部」の立ち上げと運用、今回初めて準備した「避難フラッグ」の利用など、新しい試みも実施しました。金山第2区300世帯の大半が参加し、緊急時の行動の貴重な体験が出来た事に心から感謝します。

今回の経験から、まず日頃の備えをし、自助の意識を高めることの大切さと、共に助け合う「近助の精神・共助の精神」の大切さを痛感しています。この体験を生かし、今後ますます地域の絆を強めていきたいと思っています。

【金山第2区 山口隆十区長】



対策本部で指揮を執る山口区長

「近助の精神・共助の精神」
きんじょ